

第20回 FiaS Monthly Caféのご案内

福岡市産学連携交流センター入居者及び関係者の皆様

平素よりセンターの運営にご協力をいただき感謝申し上げます。

FiaS では入居者の相互交流を一層深めるとともに、市民・地場企業等のみなさまの出会いを促進する場としてセンターの活用をはかるべく、公開形式の交流会「FiaS Monthly Café」を開催しております。皆様のご参加をお待ちしております。

日時：令和3年7月16日（金）16時00分～17時00分

会場：オンライン開催（Zoom ミーティング）

話題提供者：半田 敬信 氏（株式会社理研鼎業 共同研究促進部）

話題：理化学研究所の研究成果と国民への貢献

理化学研究所と言うと、大学のように卒業生がいる訳でもなく、113 番元素発見やスーパーコンピュータ富岳などの話題はニュースや新聞で目にしますが、一般の方々には「日本の産業や国民の生活に対して、一体何の役に立つのだろうか？」との感想が正直なところだと思います。

理研は、研究者 3000 名、運営費 1000 億円と国内では産総研と並ぶ規模の公的総合研究機関ですが、全ての研究者が基礎研究に特化している訳ではありません。20%程度の研究者は産業連携研究に関わっており、基礎に軸足を置きながら産業貢献も出来るようなポートフォリオになっています。実はこのような研究ポートフォリオは、今後の国際競争の中で、投資体力競争に陥らず、日本の産業が生き残るための重要な要素の一つでは無いかと考えています。

この産業貢献や社会実装をより強力に推進するため、2019 年 9 月に理研の産業連携機能を分社化して理研鼎業（りけんていぎょう）という会社を立ち上げました。企業出身者も多数受け入れ、研究と民間を繋ぎ、研究成果の社会価値最大化を目指しています。

今回の交流会では、まずは、理研鼎業及びそこが社会実装へ向けて想定するストーリーをご紹介させていただきたいと思います。続いて、実際に理研鼎業の中で進めている社会実装プロジェクトの中から、国民にとって身近と思われる取り組みを 3 件ご紹介させていただきたいと思います。

1. 地球温暖化ガス排出抑制及び地球温暖化ガスの捕集と有用物質への変換に関わる取り組み
2. 新型ウイルスの不活性化に関わる取り組み
3. ビッグデータ解析による疾患の発症予測、重症化予測に関わる取り組み

最後に、これらの研究成果がどのような可能性、将来性を持つのか？ どのようにすればその社会価値を最大化出来るのか？ 皆様とご一緒に考えさせていただけると幸いです。

参加方法：どなたでも参加できます（無料）。参加ご希望の方は、[下記 URL](#) または [右 QR コード](#) から、本 Zoom ミーティングサイトにアクセスし、参加登録してください。

★参加登録サイト URL：

<https://isit-or-jp.zoom.us/meeting/register/tZlvd-itqDsvE9NfE9QU3eXPwldu9tsxmVAY>

登録後、ミーティング参加用 URL など、必要な情報がメールで自動返信されます。

当日は開始 15 分前から接続可能です。お好きな飲み物を片手に、どうぞお気軽にご参加下さい。



主催：FiaS 交流促進ワーキンググループ（福岡市、ISIT、OPACK、九州大学、西鉄ビルマネージメント）